

株式会社アドバンテスト 会社説明会

2008年度第2四半期 決算報告

2008年10月30日

プレゼンテーション：

取締役 常務執行役員 栗田 優一

ご注意

- ◆ 当社は米国会計基準を採用しております。
- ◆ 将来の見通しに関する記述について
本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

業績の概要

ADVANTEST.

(単位: 億円)

	2007年度				2008年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前期比 (%)	前年同期比 (%)
受注高	532	420	312	358	182	181	-0.1	-56.8
売上高	571	578	350	329	265	260	-1.5	-54.9
営業損益	117	129	10	-29	-18	-21	-	-
営業外収支	34	-6	10	-30	15	-25	-	-
税引前純損益	151	123	20	-59	-3	-46	-	-
当期純損益	99	70	30	-33	-2	-27	-	-
受注残	490	332	295	324	241	162	-32.9	-51.4

3

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

○ 当第2四半期の業績の概要

- ・ 受注高： 181億円
- ・ 売上高： 260億円
- ・ 営業損失： 21億円

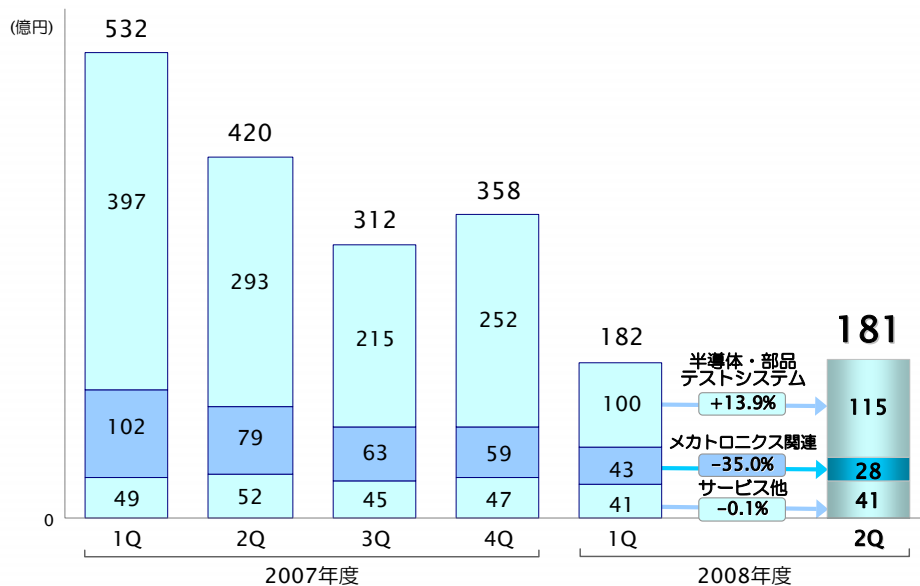
受注高、売上高、営業損失共に、ほぼ前期並みで推移

- ・ 税引前純損失： 46億円

主な理由 ⇒ 1) 為替差損

米ドルやユーロに対する円高の影響で
期末評価における為替差損

2) 投資有価証券の減損



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれております。

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

○ 当第2四半期

事業セグメント別の受注高

○ 半導体・部品テストシステム

・ 前期比 13.9%増の 115億円

・ メモリテスト：

期の後半、

グラフィックDRAMやDDR3の評価用などに

メモリテストの受注があった

・ 非メモリテスト：

T2000のモジュール需要が堅調に推移

○ メカトロニクス関連

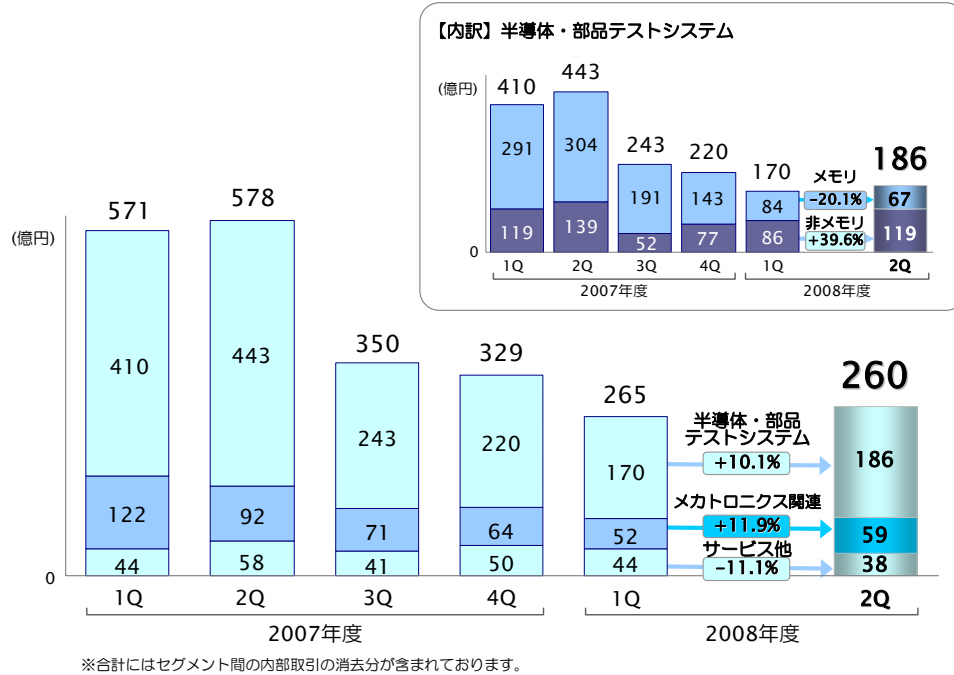
・ 前期比 35%減の 28億円

・ 量産向けテスト需要が回復しておらず、

主にハンドラの受注が低調に推移した

売上高 事業セグメント別

ADVANTEST.



5

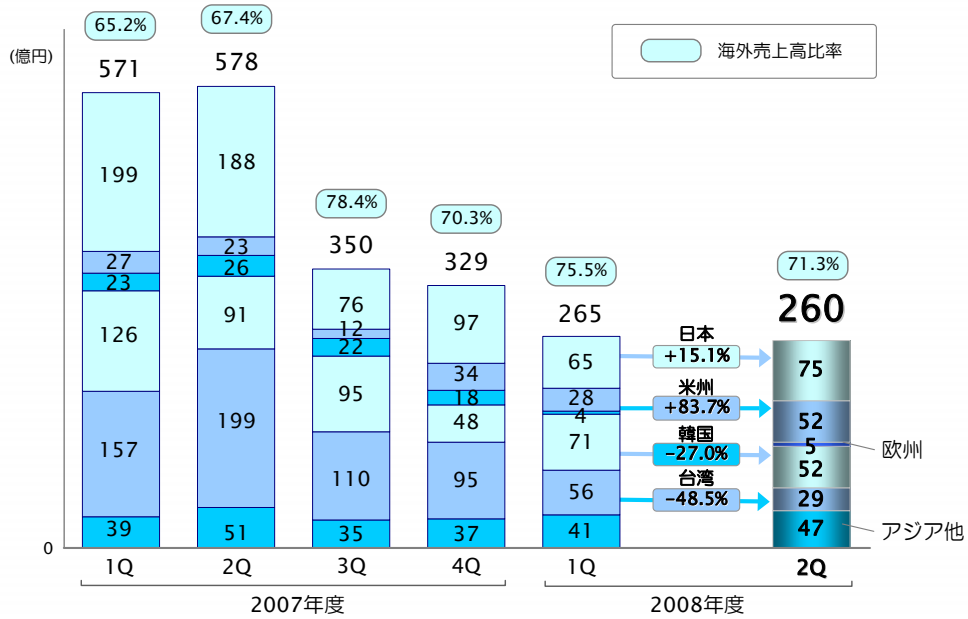
All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

- 当第2四半期
事業セグメント別の売上高
- 右上のグラフで示すとおり、
 - ・ メモリ・テストの売上高 前期比 20.1%減
 - ・ 非メモリ・テストの売上高 同 39.6%増
- 半導体・部品テストシステム合計では、
 - ・ 前期比 10.1%増の 186億円
 - ・ 非メモリテスト「T2000」の売上増加が寄与
主に日本のコンシューマー用IC向けで新規顧客獲得
次世代MPU測定用のテスト・モジュール需要が堅調

売上高 地域別

ADVANTEST.



6

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

○ 当第2四半期 地域別売上高

【前期比で増加した地域】

- ・ 日本： 75億円 前期比 15.1%増
- ・ 米州： 52億円 前期比 83.7%増

主な理由 ⇒ T2000の売上増加

【前期比で減少した地域】

- ・ 韓国： 52億円 前期比 27.0%減

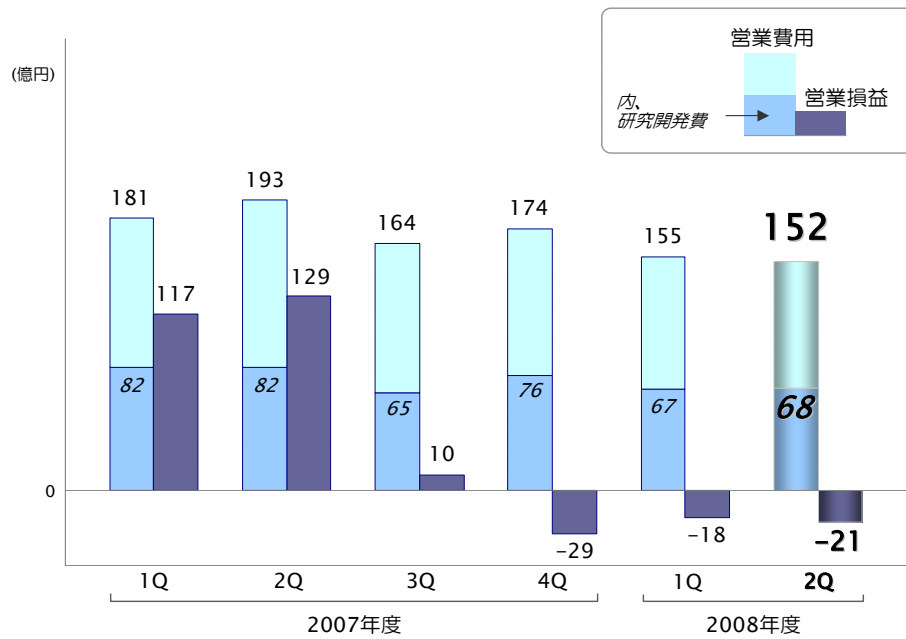
主な理由 ⇒ DRAM向けテストの売上減少

- ・ 台湾： 29億円 前期比 48.5%減

主な理由 ⇒ DRAM向けテストおよび
LCDドライバIC向けテストの売上減少

営業費用 および 営業損益

ADVANTEST.



7

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

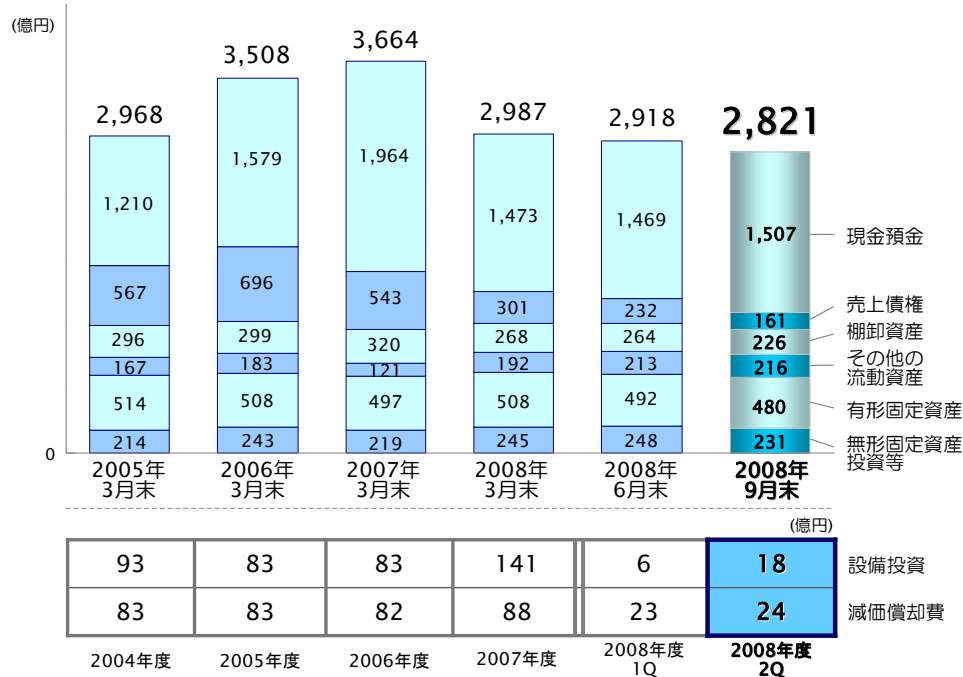
○ 当第2四半期

- ・ 営業費用： 152億円
 - 前期比で若干減少
 - 前年同期比では大幅に減少している
 - 引き続き、削減努力をする

- ・ その内、
 - 研究開発費： 68億円
 - 前期とほぼ同水準で推移
 - 前年同期比では大幅に減少している

バランス・シート

ADVANTEST.



○ 2008年9月末現在のバランス・シート 資産の部

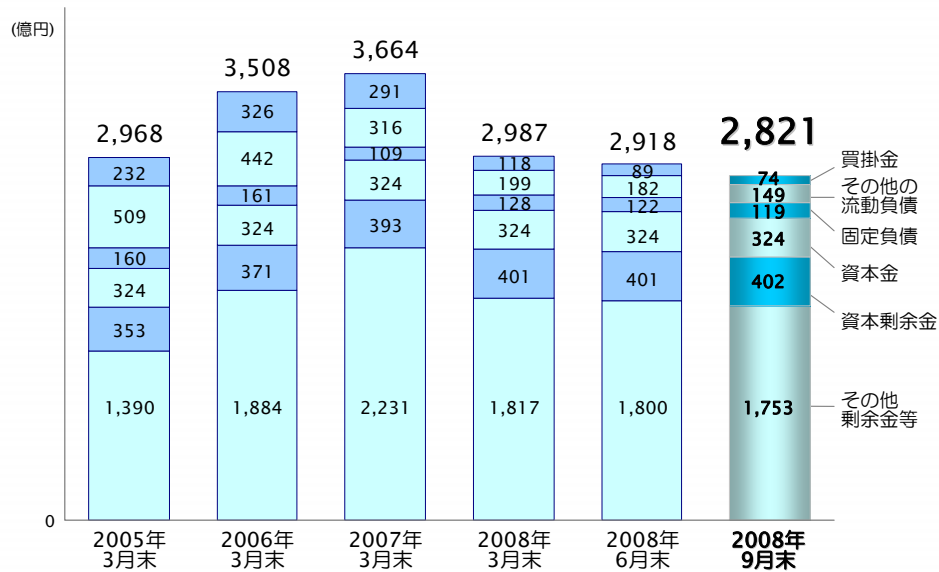
- ・ 総資産 2,821億円 (2008年6月末比 - 97億円)
- ・ 現金預金 1,507億円 (同 + 38億円)
- ・ 売上債権 161億円 (同 - 71億円)
- ・ 棚卸資産 226億円 (同 - 38億円)

- 設備投資
 - ・ 18億円 (前期比 + 12億円)

- 減価償却費
 - ・ 24億円 (前期と同水準)

バランス・シート

ADVANTEST.



9

All Rights Reserved - Advantest Corporation

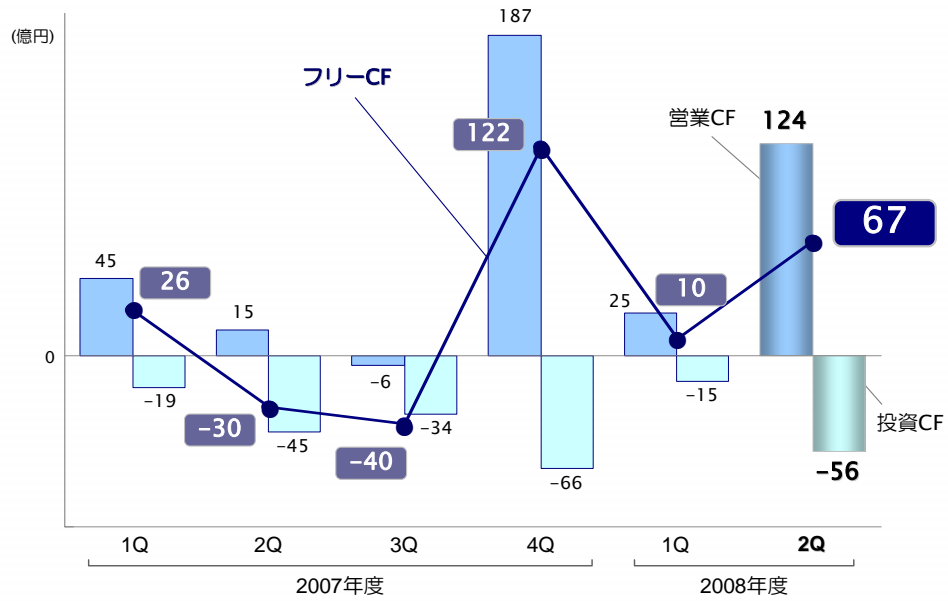
2008/10/30

○ 2008年9月末現在のバランス・シート 負債・資本の部

- ・ その他の流動負債： 149億円
(2008年6月末比 - 33億円)
- ・ その他剰余金等： 1,753億円
(2008年6月末比 - 47億円)

キャッシュ・フロー

ADVANTEST.



10

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

○ 当第2四半期

キャッシュ・フロー (CF)

・フリーCF： 67億円のプラス

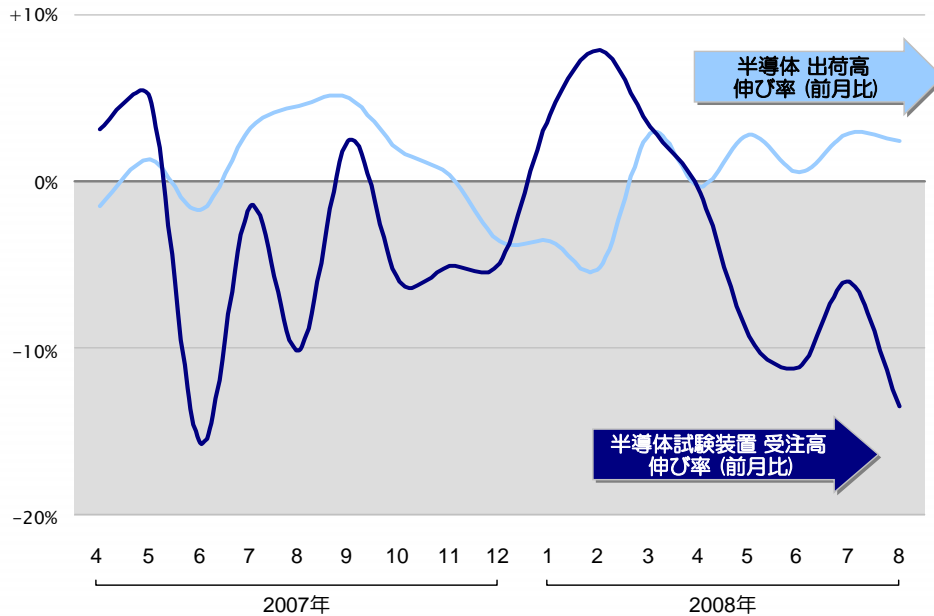
株式会社アドバンテスト 会社説明会

ビジネスの状況

2008年10月30日

プレゼンテーション：

代表取締役 兼 執行役員社長 丸山 利雄



※伸び率は3ヶ月移動平均より算出

[Source: SIA, SEMI, SEAJ]

○ 半導体市場とテスト市場の特徴

- ・ 半導体市場

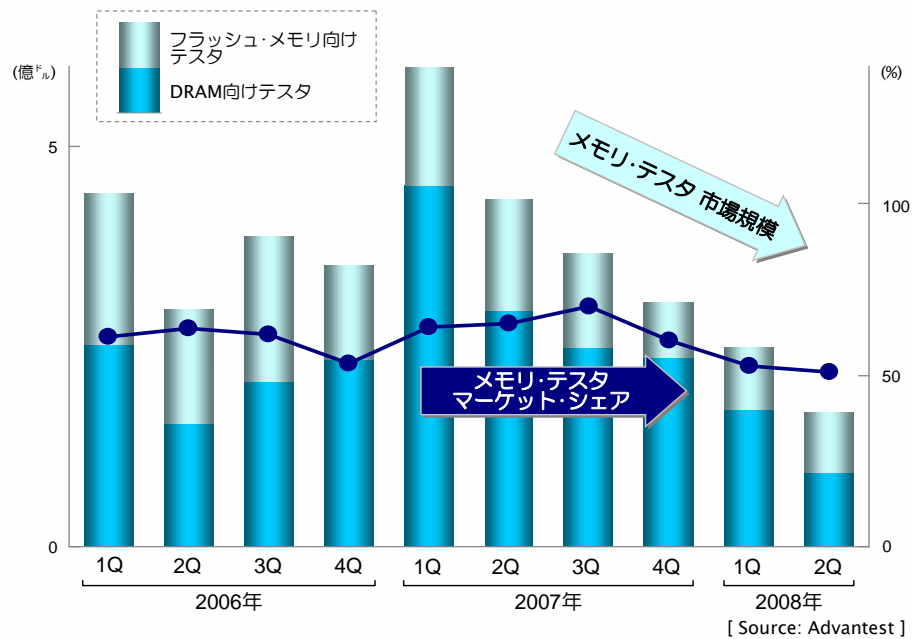
概ね 0%ラインを中心に、
± 5%程度の増減で推移している

- ・ 一方、テスト市場

昨年度から今年度にかけて低調に推移しており、
さらに、その変動幅は、+ 8% ~ - 16%と、
半導体市場に比べ約 2.4倍のブレとなっている

メモリ・テスト市場の現況

ADVANTEST.



13

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

○ メモリ・テスト市場

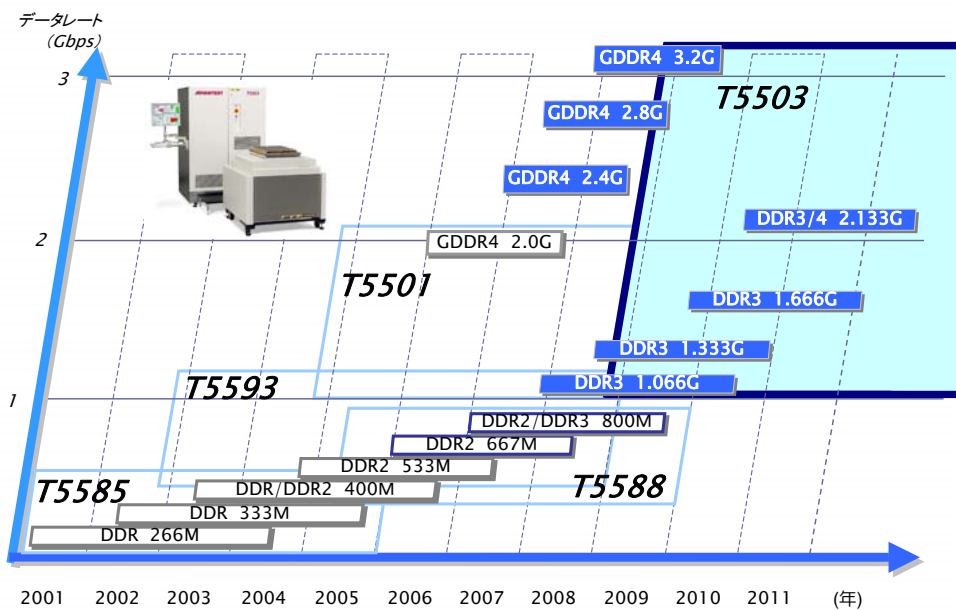
- ・ DRAMやNANDフラッシュ・メモリの価格下落による設備投資の延伸や凍結の影響で、市場規模は大幅に縮小

○ 当社のマーケット・シェア

- ・ DRAM向けテストへの大幅な投資抑制があったものの、メモリ・テストのマーケット・シェアは維持している

DRAM向けテストのラインアップ

ADVANTEST.



[Source: Advantest]

14

All Rights Reserved - Advantest Corporation

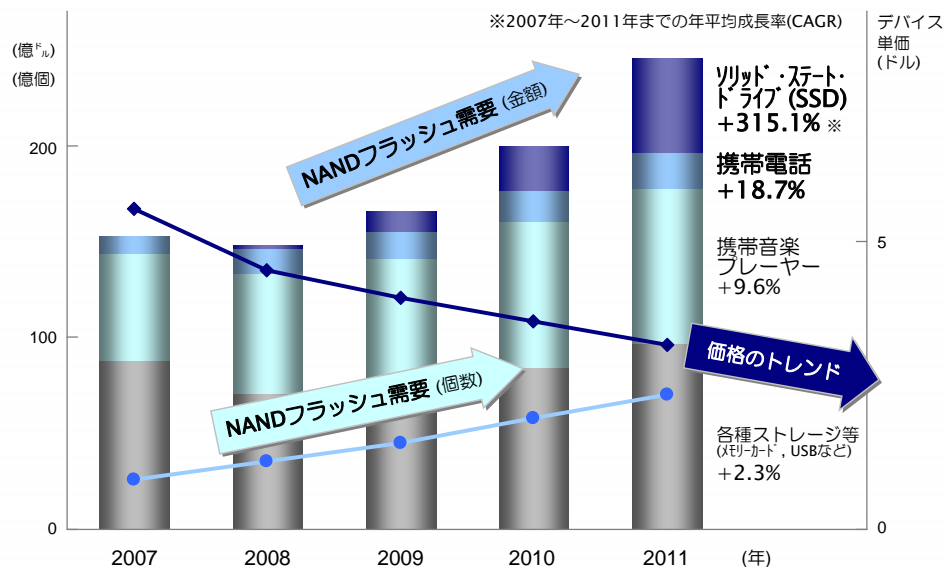
2008/10/30

○ マーケット・シェア拡大に向けた施策

○ DRAM向けテスト

- ・ 次世代MPUの登場に併せて、今後、DRAMも、DDR2から、より高速なDDR3へと世代交代が行われる見込み
- ・ DRAMメーカー各社は、現在、来年以降の量産開始に向けた準備を整えようとしている段階
- ・ 当社は、高速DDR3の量産向けとして「T5503」を発売
- ・ すでにデリバリを済ませ、顧客による評価を受けている

【ローコスト・テスト市場への参入】



[Source: iSuppli, VLSI Research]

○ 次に、フラッシュ・メモリ向けテスト

○ フラッシュ・メモリ・デバイスは、

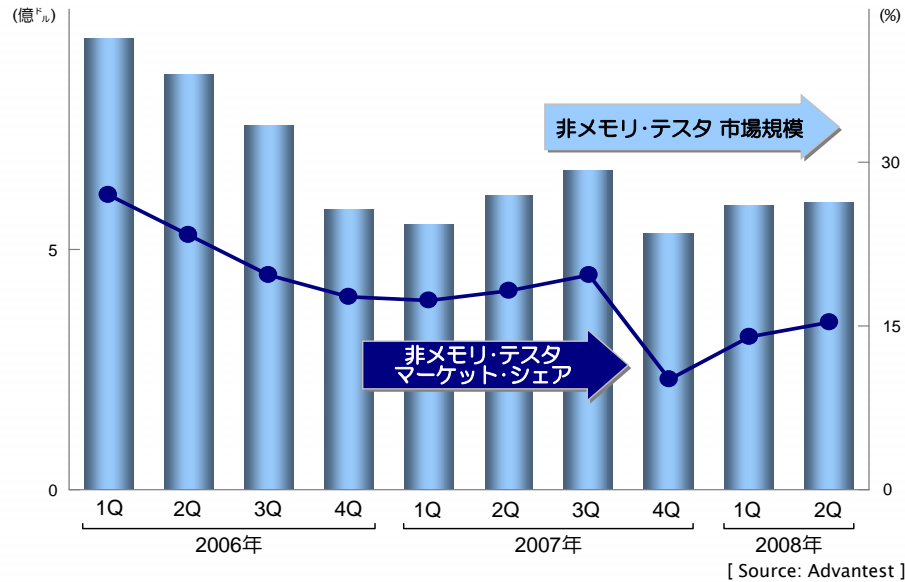
- ・ 個数需要は増加する一方、単価下落が止まらない
- ・ テスト・コスト低減へのプレッシャー強まっている

また、

- ・ マルチ・チップ・パッケージ (MCP) の普及に伴い、ウェハ状態で性能や品質が保証された、「KGD (Known Good Die) 」へのニーズは、ますます高まっている

○ 当社は、

- フラッシュ・メモリ前工程向けに、
- ローコスト・テストの投入を計画している



16

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

○ 非メモリ・テスト市場

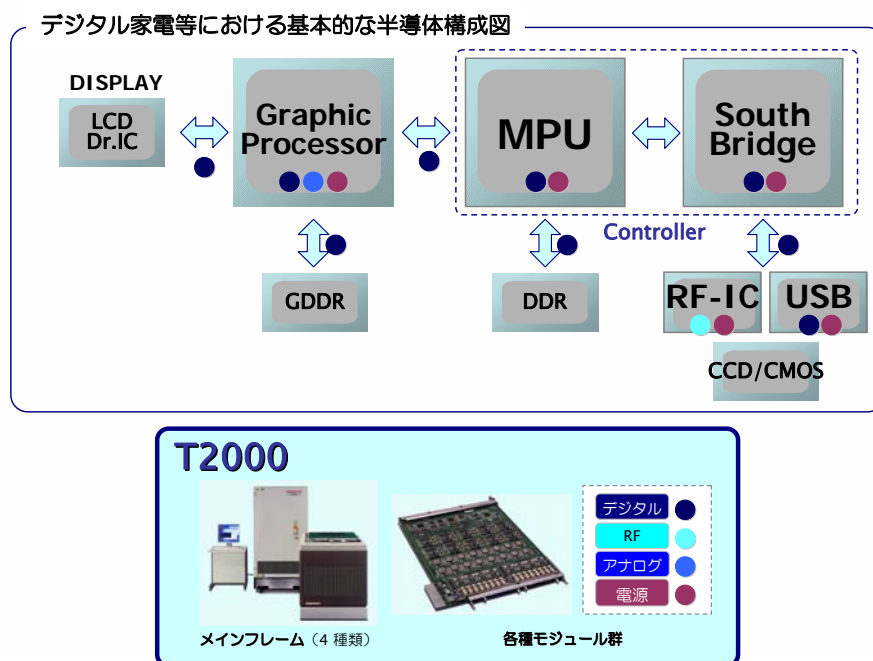
- ・ 2006年末頃から成長鈍化
- ・ 伸び悩みの原因は、キラー・アプリケーションの不在が一因

○ 当社のマーケット・シェア

- ・ 2007年10～12月期にシェア縮小
- ・ 大手MPUメーカーと国内コンシューマー用ICメーカーの、大幅な設備投資抑制が影響

○ 2008年1月以降、

- ・ 大手MPUメーカー以外への顧客拡大

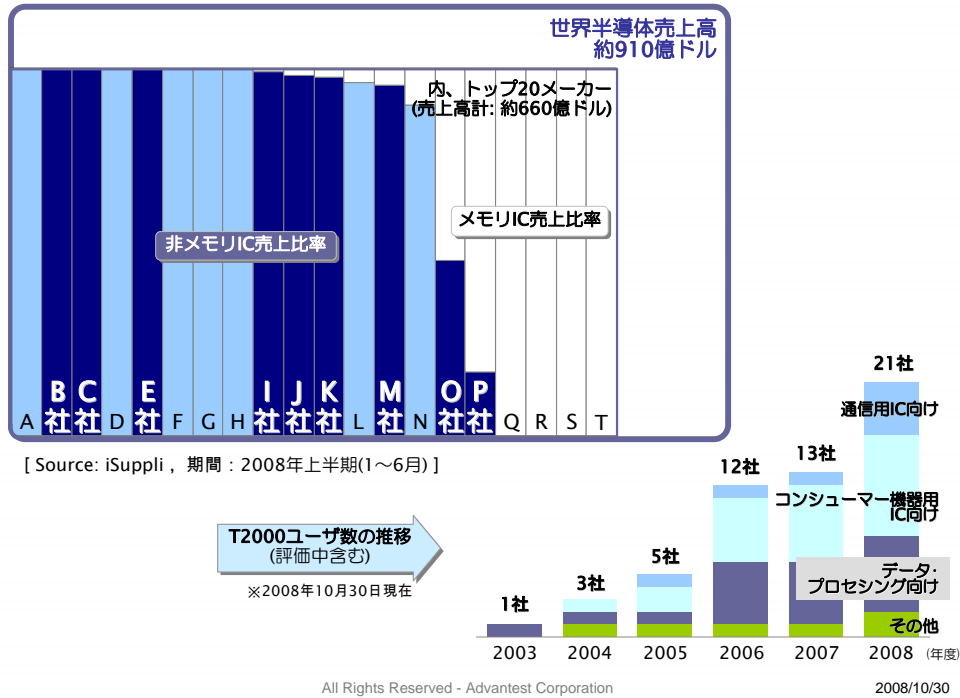


17

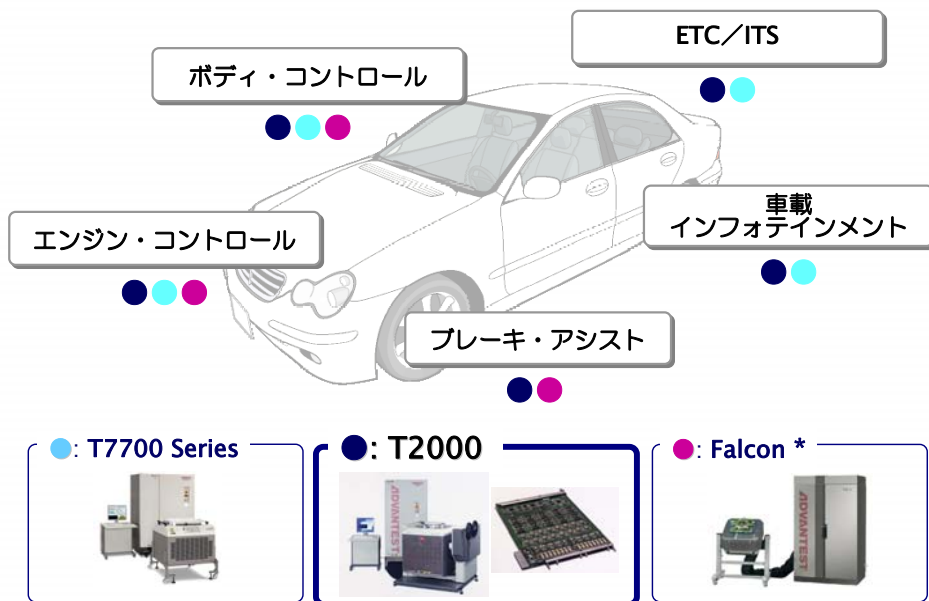
All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/10/30

- 非メモリ・テスト市場における
マーケット・シェア拡大に向けた具体的な戦略
- パソコンやデジタル家電など、
一般的なアプリケーションを構成する様々な半導体に対し、
当社は、昨年度までに、
T2000のモジュール・ラインアップを取り揃え、
多様なソリューションを実現している
- 高密度実装のモジュールによる多数個同時測定機能や、
テスト時間の短さは、
競合他社との差別化要因になっている



- この差別化されたソリューションにより、具体的に拡販を開始した
- 2008年上期の世界半導体売上高は、約910億ドル
この内、売上高トップ20社で、約72% (約660億ドル) を占める
- T2000は、2003年の発売開始から現在までに、このトップ20社中の 9社を含む、計21社に納入済み



* 「Falcon」は、Advantest Europe Systems GmbH (旧 Credence Systems GmbH(CSG)) の製品です。アドバンテストは2008年8月にCSGを買収いたしました。

- 車載用半導体の市場は、
自動車1台あたりの半導体使用量の増加と共に、
安定した成長を遂げると期待されている
- 車載用半導体向けテストとして、
当社は、現在、以下の2製品をラインアップしている
 - 1) T7700シリーズ
 - 2) Falcon
2008年8月に、
Credence Systems GmbH(CSG)を買収したことで、
欧州や日本の大手車載用半導体メーカーに実績を持つ、
「Falcon」がラインアップに加わった。
- 今後は、車載用半導体向けにT2000用モジュール開発を進める
CSGの強みであったアナログ試験技術などを、
モジュール開発に活用

引き続き、
財務体質のさらなる強化に努めます